

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 岐阜県百年公園維持管理費（指定管理者分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 整備管理係

電話番号：058-272-1111(内4916)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 71,356 千円 (前年度予算額： 70,951 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	70,951	0	0	307	0	0	0	0	70,644
要求額	71,356	0	0	140	0	0	0	0	71,216
決定額	71,356	0	0	140	0	0	0	0	71,216

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。百年公園についても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成17年9月から指定管理者制度を導入している。

- ・指定管理者：昭和造園土木株式会社
- ・第1期 平成17年9月1日～平成22年3月31日（5年間）
- ・第2期 平成22年4月1日～平成27年3月31日（5年間）
- ・第3期 平成27年4月1日～令和 2年3月31日（5年間）
- ・第4期 令和 2年4月1日～令和 7年3月31日（5年間）
- ・第5期 令和 7年4月1日～令和14年3月31日（7年間）

〈指定期間を7年とした理由〉

新都市公園活性化基本戦略に基づき、自然観察、森林浴、リラクゼーション機能の充実、花菖蒲園他の庭園の利用促進を図るため、指定管理者の創意工夫による業務が含まれることから、積極的な投資を促し、投資経費の改修が可能となるようにするため。

(2) 事業内容

指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

- ・指定管理者による都市公園の維持管理 70,951千円
- ・2号トイレ更新による維持管理費の増 405千円
- 合計 71,356千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県（71,216千円）、管理及び設置許可等収入（140千円）

(4) 類似事業の有無

- ・養老公園維持管理費（指定管理者分）
- ・各務原公園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）
- ・世界淡水魚園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふ清流里山公園維持管理費（指定管理者分）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	71,356	公園の管理運営業務にかかる指定管理料の支払い
合計	71,356	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
都市公園の適正な管理運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	達成率
入園者数 6公園全体	774万人	699万人	734万人	1,000万人	1,000万人	73.4%
岐阜県百年公園	56万人	50万人	57万人	/	/	/

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	(1) withコロナに対応したイベントの実施による公園の利用促進 (2) 樹上型アスレチック、ドッグラン、グラウンドゴルフ場の運営などレクリエーション施設としての利用促進 (3) テレビ、SNS等の広報媒体の活用による公園の利用促進
	指標① 目標： / 実績： / 達成率： / %
令和 5 年度	(1) withコロナに対応したイベントの実施による公園の利用促進 (2) 樹上型アスレチック、ドッグラン、グラウンドゴルフ場の運営などレクリエーション施設としての利用促進 (3) テレビ、SNS等の広報媒体の活用による公園の利用促進
	指標① 目標： / 実績： / 達成率： / %
令和 6 年度	(1) 里山文化を再発見するイベントやワークショップの実施による公園の利用促進 (2) ドッグラン、グラウンドゴルフ場の運営などレクリエーション施設としての利用促進 (3) テレビ、SNS等の広報媒体の活用による公園の利用促進
	指標① 目標： / 実績： / 達成率： / %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	都市公園を管理運営することについては、県民のレクリエーションの空間となるほか、県のゲートウェイ機能としての役割も果たす観光資源として、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、施設更新費の確保。急速な物価、人件費の高騰に伴う、維持管理費の相対的な低下など。
--

(次年度の方角性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------